

令和 7 年 7 月 11 日

東員町議会

委員長 片松 雅弘 様

東員町議会 議員 三林 浩

## 研修報告書

研修期間	令和 7 年 7 月 11 日 (木)
研修（視察）先	健康長寿課
目的（テーマ等）	がん検診の現状と今野について
参加議員名 (複数の場合)	教育民生常任委員会
資料添付の有無	有 • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

## ●研修概要

日時 令和7年7月11日（木） 9時から

場所 東員町議会 第1会議室

参加者 教育民生常任委員会

## 内容

健康長寿課による「がん検診の現状と今後について」勉強会を開催しました。

## ◎がん検診の受信方法は以下の3つである

- ①市区町村が実施するがん検診
- ②職場の定期健診と併せて受診するがん検診
- ③人間ドックなどをを利用して受診するがん検診

## ◎市町村が実施するがん検診

健康増進法に基づく健康増進事業（市区町村の努力義務）としてがん検診を実施、検査項目や対象年齢、受診間隔など国の指針に沿った検診を行う。

## ◎がん検診の目的

早期発見、早期治療によるがんの死亡率減少

## ◎東員町でのがん検診の種類

種類	検査項目	対象年齢
胃がん検診	胃部エックス線検査	40歳以上
子宮頸がん検診	細胞診検査	20歳以上
肺がん検診	胸部エックス線検査及び喀痰検査	40歳以上
乳がん検診	乳房エックス線検査（マンモグラフィ）	40歳以上
大腸がん検診	便潜血反応検査（2日法）	40歳以上
前立腺がん検診	血液検査（PSA検査）	55歳以上

## ●所感

目的が早期発見、早期治療によるがんの死亡率減少となっているが、現状は受診率もここ数年横ばい傾向で伸びていない。

その要因としては、がん検診の方法が3つあるためと考えられる。

目的を達成するには、もう少しデーター分析が必要と思います。例えば対象年齢での年齢に集中しているかなど分析し、受診しない年齢層にがん検診をどこで受診しているか（会社等）などアンケートを取って考えていくのも一つの方法と考えます。

また、データーは重要とした上で、個人が病院でがん検診をした場合に「補助金」を出すなど、将来を見据えて考えても良いと思いました。

以上